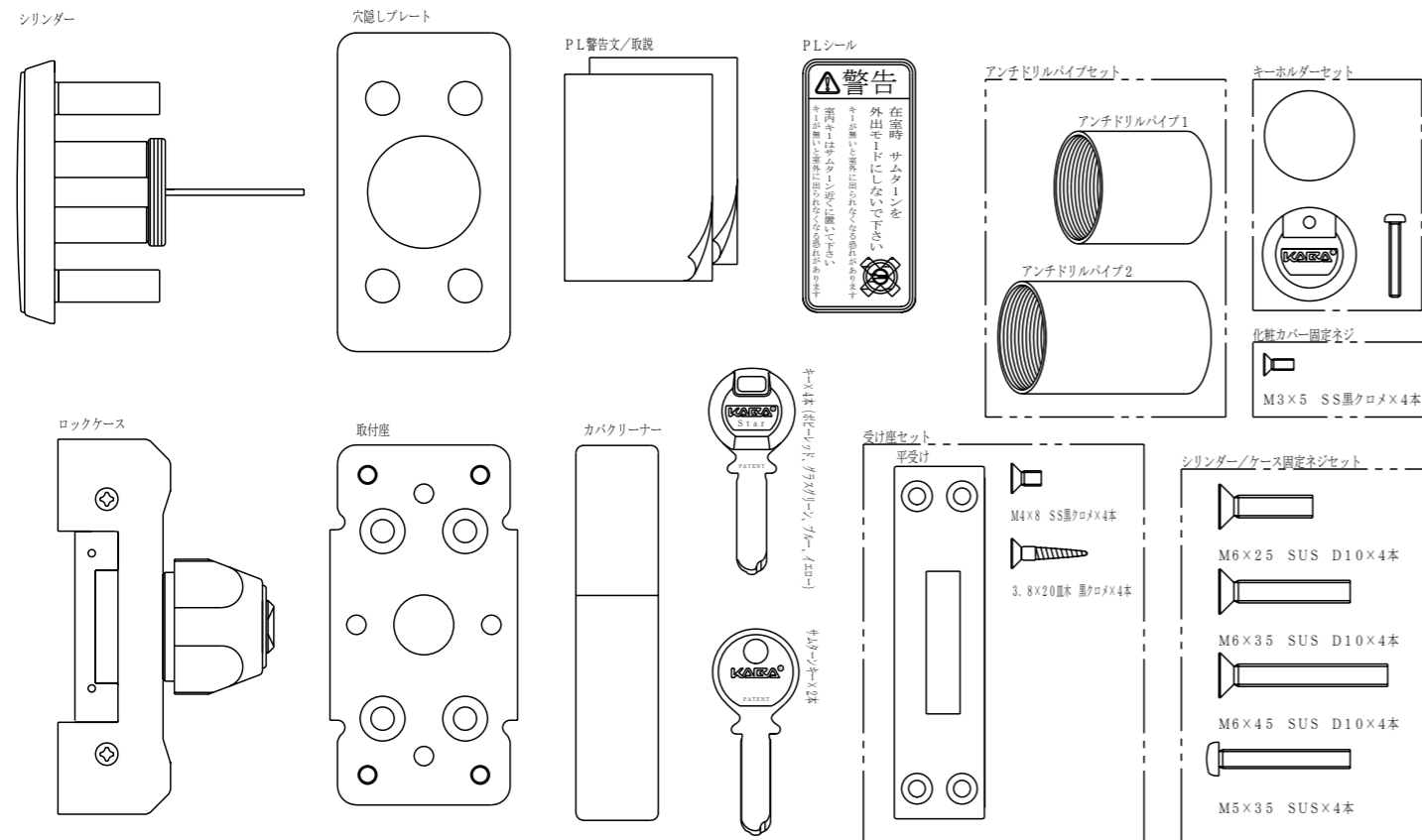


①梱包内容

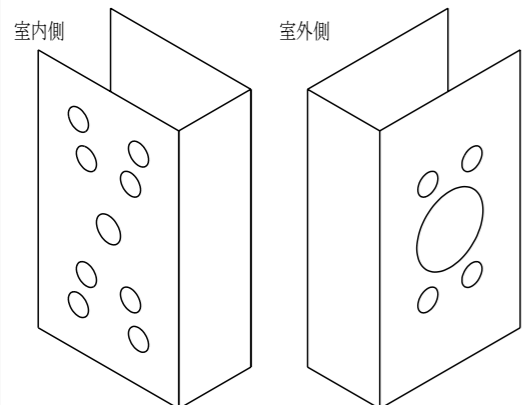


②取付に必要な工具

- ボルトクリッパー
- プラスドライバー
- スケール
- ドリル (Φ10、Φ12)
- ホールソー (Φ33)

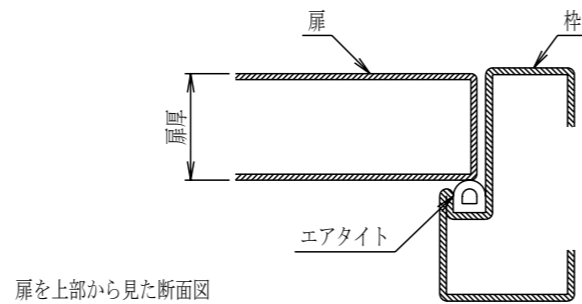
④切欠き加工

鋼製、アルミ製扉の切欠き ※詳細は切欠き図を参照ください。

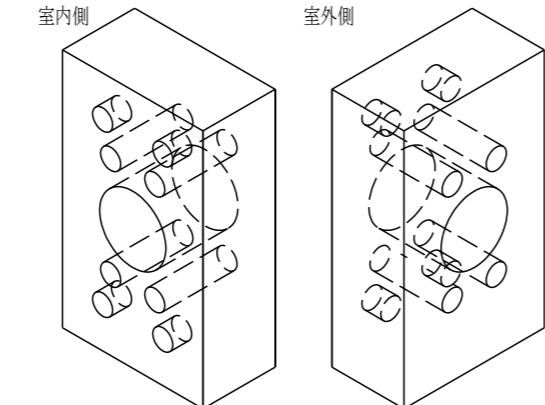


③加工前の確認事項

扉厚を測ります。  
エアタイトドアに取付ける場合はオプションのATライナーセットを購入ください。



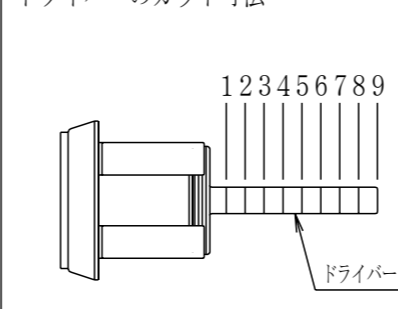
木製扉の切欠き ※詳細は切欠き図を参照ください。



⑤シリンダードライバーのカットとネジの選定

取付ける扉厚に合わせてシリンダードライバーをボルトクリッパー等でカットしシリンダー取付けネジを選定します。

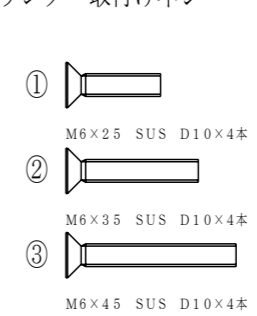
ドライバーのカット寸法



扉厚 (mm)	カット位置
30~34	1
35~39	2
40~44	3
45~49	4
50~54	5
55~59	6
60	7

⚠ ドライバーをカットする際、ドライバーをシリンダーから外さないでください。ドライバーを外すとシリンダーが分解する恐れがあります。

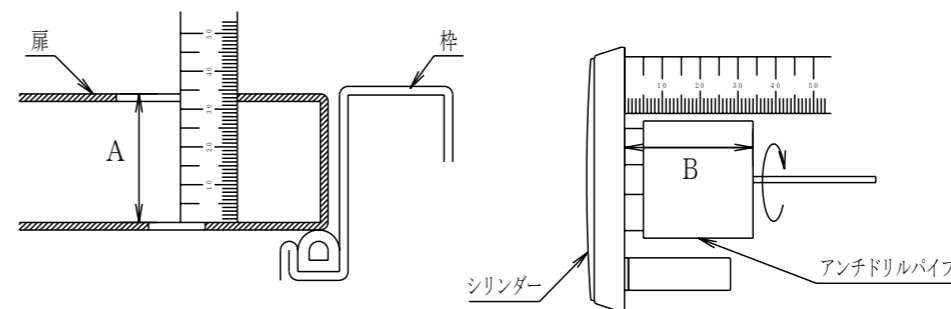
シリンダー取付けネジ



扉厚 (mm)	ネジ
30~39	①
40~49	②
50~60	③

⑥アンチドリルパイプの取り付け

取付ける扉厚に合わせてアンチドリルパイプを選び、扉厚に合わせてパイプをねじ込み調整します。

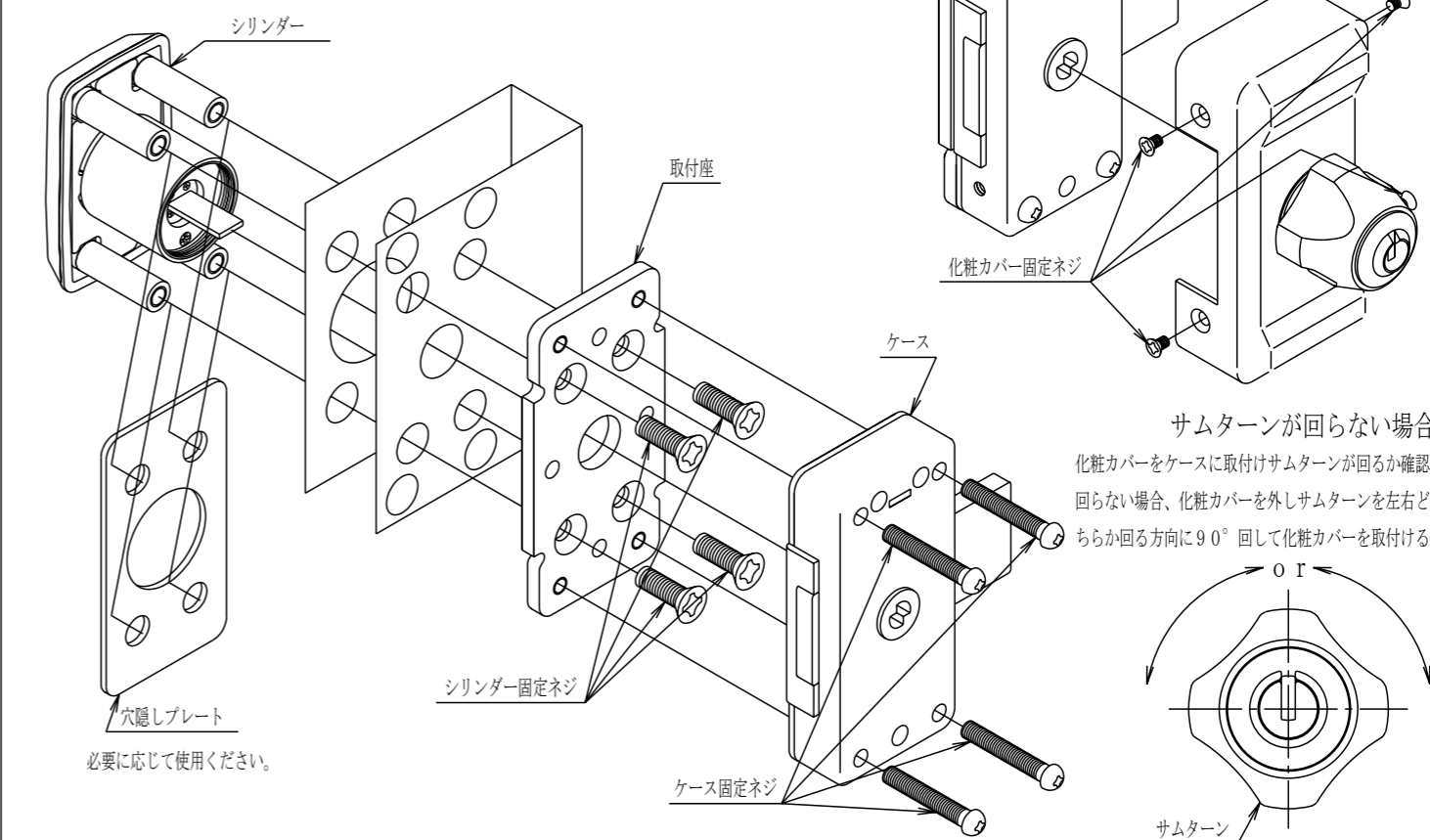


扉厚 (mm)	アンチドリルパイプ
30~45	短
46~60	長

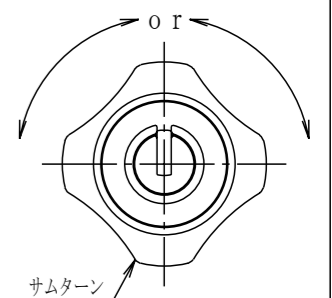
Aの寸法よりBの寸法が長い場合、シリンダーが扉より浮いてしまうのでBの寸法は必ずAと同寸法か若干短くしてください。

⑦シリンダー/本体の取り付け

シリンダーを扉に差込み取付座からシリンダー固定ネジで引込み固定し、ケースを取付座にケース固定ネジで取付け化粧カバーを取付けます。その際、サムターンが回るか確認し化粧カバー固定ネジで化粧カバーを固定します。

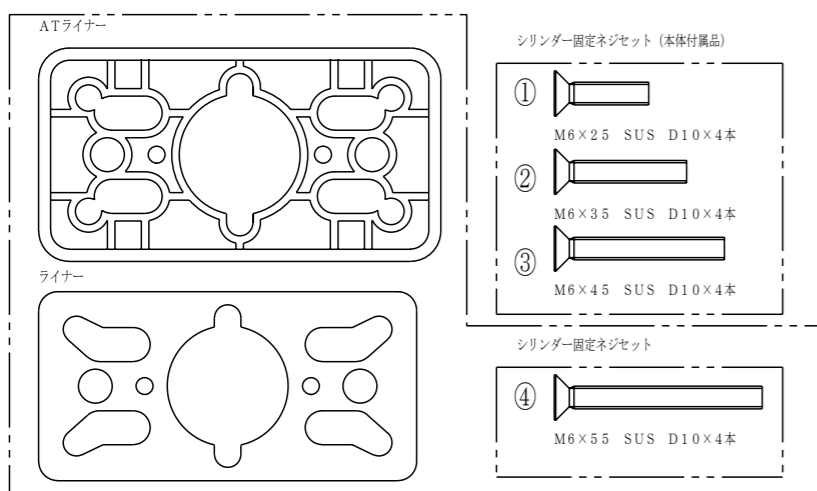


サムターンが回らない場合  
化粧カバーをケースに取付けサムターンが回るか確認  
回らない場合、化粧カバーを外しサムターンを左右ど  
ちらか回る方向に90°回して化粧カバーを取付ける。



必要に応じて使用ください。

①ATライナーセット梱包内容

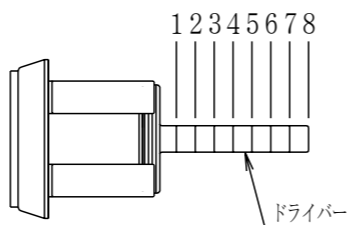


②シリンダードライバーのカットとネジの選定

取付ける扉厚とライナー厚に合わせてシリンダードライバーをボルトクリッパー等でカットしシリンダー取付けネジを選定します。

#カット寸法とネジの長さは品の表で確認ください。

ドライバーのカット寸法



⚠ ドライバーをカットする際、ドライバーをシリンダーから外さないでください。ドライバーを外すとシリンダーが分解する恐れがあります。

シリンダー取付けネジ

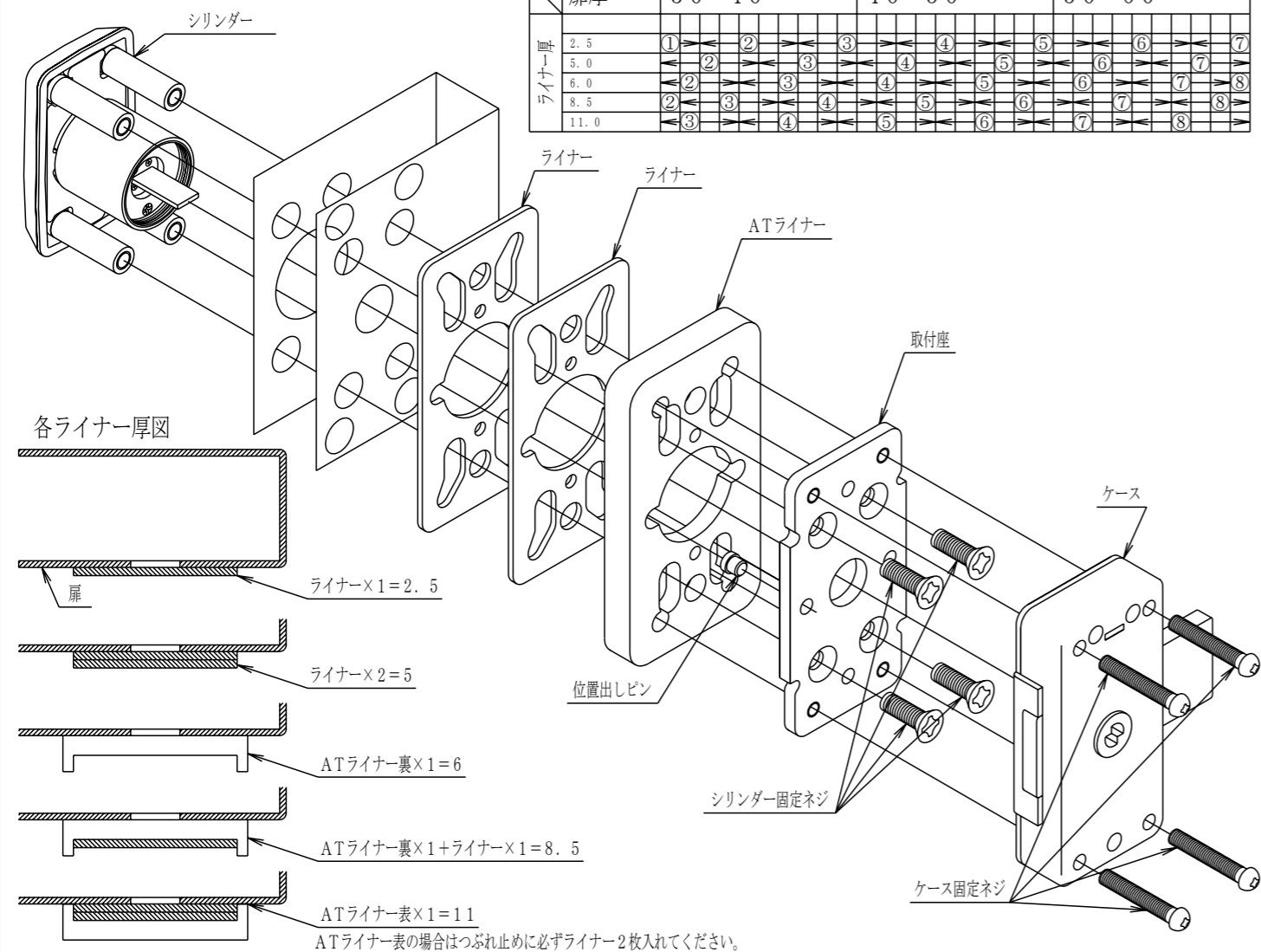
扉厚	30~40				40~50				50~60			
ライナー厚 2.5					②				③			
5.0		①			②				③			④
6.0	①				②				③			④
8.5	①		②		②				③			④
11.0	①		②		②				③			④

ドライバーのカット位置

扉厚	30~40				40~50				50~60			
ライナー厚 2.5	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
5.0	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
6.0	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
8.5	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
11.0	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭

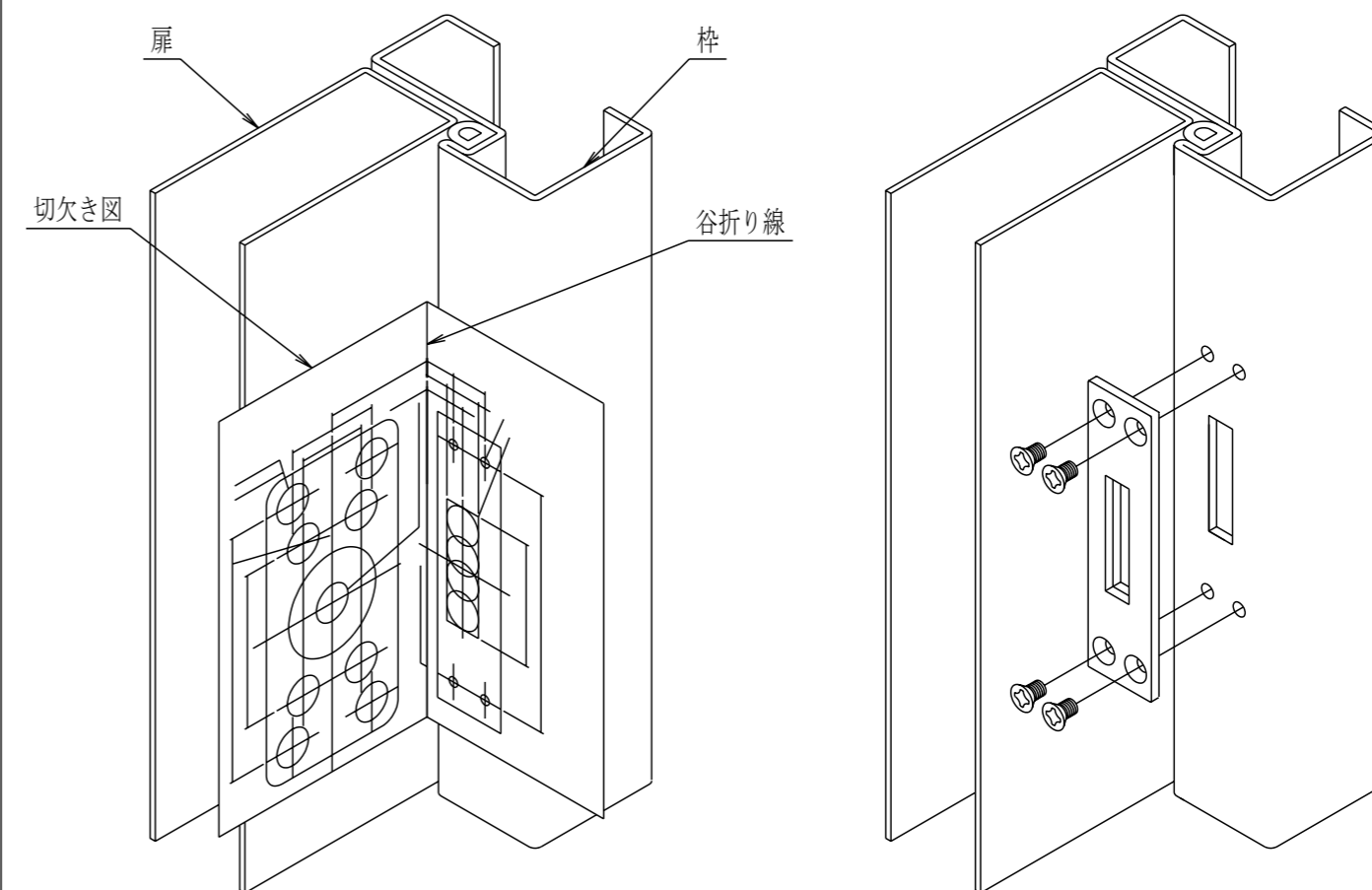
③ATライナーの取付け方法

扉と取付座の間にATライナー又はライナーを入れてください。  
ライナーを使った浮かし寸法は下のライナー厚図を見てください。

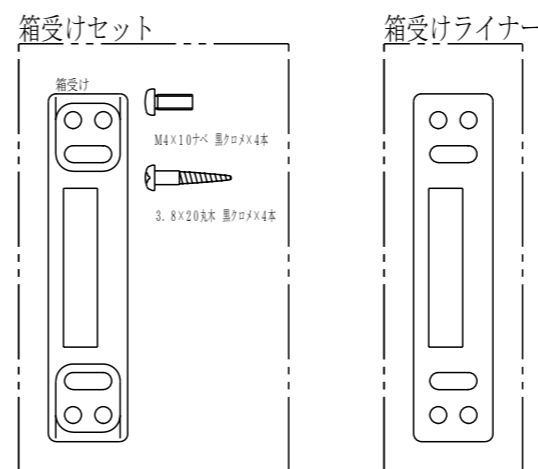


④受け座の取付け方法

切欠き図に合わせて受け座の位置を決めてください。(ATライナーやライナーを使用する場合寸法が変わるので注意してください。)  
枠の材質によって加工方法が異なりますので注意してください。



⑤箱受けセットと箱受けライナーの梱包内容



⑥箱受けの取付け方法

切欠き図に合わせて受け座の位置を決めてください。(ATライナーやライナーを使用する場合寸法が変わるので注意してください。)  
枠の材質によって加工方法が異なりますので注意してください。

